



自治労HP



ご意見フォーム



じちろ

自治労中央機関紙

発行所

全日本自治団体労働組合
東京都千代田区六番町1
TEL 03-3263-0273
FAX 03-5210-7422
定価一部30円
(組合員の購読料は
組合費の中に含む)



自治労石川県本部の専従中央執行委員・袁島真吾さん(能登町職)が、1月1～2日に能登町内にて撮影。倒壊した家屋が道路をふさぎ(写真上)、橋には地割れで段差ができています(写真下)。被害の大きかった「奥能登」地域(能登町・穴水町・珠洲市・輪島市)などでは、水道、道路などのインフラ復旧にもまだ時間を要すると思われる。



2024年1月1日に発生した能登半島地震は、石川県能登地方を中心に甚大な被害をもたらしている。自治労は1月15日に開いた県本部代表者会議で、被災自治体への復興支援の当面の取り組みを確認した。当面できる支援はカンパ。組合員の皆さんの参加を訴える。

「奥能登」に大きな被害 石川県内死者230人超

能登半島地震

被災自治体の組合員支える カンパ。支援行動の展開へ

石上委員長(左)が松本総務大臣に要請を行う



1月11日、石上委員長が松本剛明総務大臣と会談し、能登半島地震の被災自治体への支援について要請した。
石上委員長は、①長時間労働に対する労働安全衛生と労災防止、②超過勤務手当支給も含め災害対応・復旧業務に対する財源の確保、③メンタルケア対策、④通常業務の軽減、申告業務、課税業務など延期可能な業務の対策、⑤支援体制の構築と中長期的展望に立つ人的支援、の5点を求めた。

石上委員長が被災自治体支援で 松本総務大臣に緊急要請

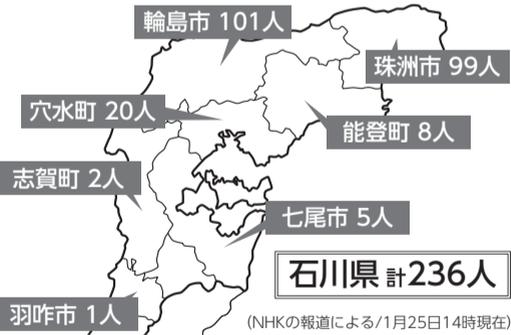
は、現時点で1人を確認している。先週、ようやく被災単組の役員と連絡が取れるようになり、

カンパと被災地支援で示そう“自治労の絆”

自治労は2011年の東日本大震災では、合計5億3,700万円のカンパ金を被災自治体に寄付するとともに、3カ月間・延べ約2万人の組合員が参加し、被災地での避難所運営などの復興支援活動を実施しました。2016年の熊本地震でもカンパと被災地支援活動を、2018年の西日本豪雨災害と胆振東部地震でもカンパを実施しています。被災地にはまだ入れない今、カンパで支援の気持ちを届けよう。

県代会議であいさつした石上千博委員長は、「地震発生以来、多くの県本部から、今すぐ現地に行きたいという声をいただいている」とした上で、「本部に
対策本部を設置し、災害特別カンパの実施を決めた。最大限のご協力をお願いしたい。また、新潟・富山・石川の被災3県本部へのヒ
アリング、松本総務大臣への要請(左下に関連記事)を行った。石川県本部からの支援要望については早急に検討し、実施したい」と述べた。
また、自治労石川県本部の宮鍋正志委員長が発言。「地震発生以降頂戴した全国からの温かい言葉に感謝したい。組合員の犠牲者は、現時点で1人を確認している。先週、ようやく被災単組の役員と連絡が取れるようになり、
富山県氷見市で支援活動その後、富山県氷見市長からの要請に基づき、1月18日から同市で支援活動が実施されている。当面、支援者の派遣は富山県本部の単組に限られる。
現地を訪問して状況を聞くことができた。今後、全国の皆様にご支援をよろしくお願したい」と述べた。

能登半島地震による石川県内の死者数



自治労情報宣伝セミナー

を開催します **完全 On Line** 第2回 参加者募集中

- 講座①** 開催日程 2月16日(金) 13:00~17:00
講座内容 Wordでつくる機関紙
講師 池口忠史(自治労大阪府職労 労働支部長)
- 講座②** 開催日程 2月17日(土) 09:00~13:00
講座内容 パワーポイントでビラづくり
講師 ヨッシー・イリエ(自治労愛知県本部特別執行委員)

Zoomの実技講習です。プログラム詳細、参加申し込みは各県本部まで。参加費無料。締め切り2月13日(火) お問い合わせ: 自治労総合企画総務局(報道担当) TEL03-3263-0273 Eメール: houdou@jichiro.gr.jp

幸せは、ひとりじゃつくりたくない。

じちろう退職者団体生命共済
団体定期生命共済

健康状態にかかわらず移行加入できます!

85歳まで保障が継続できます!

退職後もじちろう共済

団体生命共済の加入者が、退職後も最長85歳まで継続できる「じちろう退職者団体生命共済」。スケールメリットを活かしたリーズナブルな掛金で、退職後の保障も安心です。

ご不明な点があれば、まずは組合にご連絡ください。契約にあたってはパンフレットをご覧ください。

自治労共済 推進本部
全日本自治団体労働者共済生活協同組合

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地(先)の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

公営競技評議会第15回全国研究交流集会@京都 競技と職場の存続賭けて 地域に開かれた競技施設へ



自治労は1月18〜19日、公営競技評議会第15回全国研究交流集会を京都市で開催し、1000人が参加した。この集会は全国の公営競技職場で働く職員の職場実態や活動の交流、公営競技政策の研究などを目的に隔年で開催している。

集会では北海学園大学の古林英一教授が「地域における公営競技の可能性と未来」と題して講演(左囲み)。自身が公営競技の大ファンであると同時に、専門の農

集会後、びわこ湖をのぼり、ボートレースのコースを一周する。古林英一教授(左)と自治労の職員ら。

業経済学の研究から北海道の「ばんえい競馬」存続運動に参与した経緯に触れながら、公営競技の歴史を概説。戦後の沿革から、隆盛と衰退を経て、今日ではネット投票の拡大により活況を呈しているとした。

しかし来場者数の減少は続き、従事員の雇用も縮小、地方財政への貢献度も低下している厳しい現実を指摘。競技施設の多目的利用などを進め、地域に貢献することが大切だとし、「そのためにはまず、施行者」

首長の意識改革が必要だ。地元の優秀な競輪選手、海外でも活躍する競走馬の写真を、表紙に載せた自治体

質疑と職域の確保、率直な発言が相次ぐ

広報紙を見たことがない。公営競技を市民から隠すのではなく、積極的にアピールすべきだ」と強調した。

質疑応答では、従事員の不補充という厳しい現状の中で、どう職場を守り、ファンサービスの充実や地域貢献を果たせるか等について意見や質問が出された。古林教授は「来場者数の減少の中で、有人の投票券販売窓口を守るのには難しいのが現実。新たな職域の確保が必要だ」と述べた。

集会2日目は、競技種目別などの4分科会に分かれ、雇用確保や労働条件、春闘要求書の分析、公営競技の未来の姿などを議論した。集会後は、参加者有志で滋賀県大津市のびわこ

ボートを視察した。

公営企業職場の次代を担う役員育成を目的として、1月20日「さきがけ公企塾(西日本)」が広島市で開催された。塾には、19県本部から組合役員歴1〜3年の30人が参加した。労働組合の役割や公営企業労働者の権利、労働安全衛生などを講演から学び、全国の仲間との交流を通して公企評の活性化を図った。

1日目のグループワークは、労働組合に求められることや人員確保、新規採用者の組織化などをテーマに議論。岩本公企塾長(右)が、被災地支援の派遣が決定している

岩本公企塾長(右)が、被災地支援の派遣が決定している



古林英一さん 北海学園大学経済学部教授 専門は農業経済学。北海道ばんえい競馬の存続問題に関する著書に「公営競技史」(角川新書)

地域に認められる公営競技へ

公営競技は戦後復興のための産業振興と地方財政対策として誕生した。高度成長期の隆盛、バブル崩壊後の低迷などを経て、今日ではネット投票が急拡大し空前の活況を呈している。しかし本場開催への来客数は増えていない。

市民への施設利用の開放、観光施設化、防災拠点としての活用など、競技施設の多面的利用を進め、地域に貢献することが求められる。投票券を買わない市民にも存在意義を認められることが、存続の決め手だ。自治体首長には、公営競技を隠すのではなく、見せるものへと転換する意識改革が求められる。

これが公共サービス職場100%中の100% 「働くってカッコイイ!当たり前を支える人たち」

動画募集

自治労は、公共サービスの意義やその必要性を社会に伝えるため、「公共サービスにもっと投資を!」キャンペーンに取り組みます。そのひとつとして、「働くってカッコイイ!当たり前を支える人たち」

の動画を募集します。私たちの「飾り気なしのいつもの業務姿」と「仕事への思いや伝えたいこと」を自治労のYouTubeやSNSから発信し、公共サービスの多様性や懸命に働く姿を伝えます。

動画応募の概要

- | | |
|---|---|
| 基本的事項
・動画の長さは「30秒程度」。横向き撮影。
・日常の業務を撮影すること
・SNS発信用に100字までのコメント
賞金
・「視聴回数」や「高評価」の数などを参考に選考し、大賞(10万円)、優秀賞(5万円)などを贈呈 | スケジュール
・1月30日(火)〜3月15日(金)募集
・4月上旬 応募動画の一斉配信
・5月下旬 各賞の発表 |
|---|---|

詳細は発文に記載しています。県本部までお問い合わせください。

..... SNSで発信したらこんなかんじ!

全日本自治団体労働組合(自治労)
夏は気温38度の炎天下での収集、冬は大雪にごみが埋まって見えません・・・が、今日も現場力発揮中(^^) /



画像：ありったけの現場力より

全日本自治団体労働組合(自治労)
突然の減税と給付にうたれて夢中で事務処理をこなしたね(°▽°)・・・グハッ!!減税・給付の事務処理には膨大な手間、人件費、手数料がかかる。メガネを凝らして見直して。



画像：[埼玉]ようこそ自治労へより

2024年1月から 新NISAがスタートしました!

詳しくは「ろうきんNISAスペシャルサイト」をチェック!
便利なお役立ちコンテンツもご利用いただけます。

- 人生100年時代シミュレーション
- 動画でわかるNISA
- ろうきんの投資信託取扱商品 他



アクセスはこちらから!



冒頭、能登半島地震の復興に尽力する公営企業労働者へエールを送る岩本公企塾長。参加者の中には、被災地支援の派遣が決まっている塾生も

①団体交渉参加者②管理運営事項の説明③当局責任の追及④労働協約の4つの争点の解説から団体交渉のポイントを学んだ。

最後に岩本匡修塾長(議長)が、さきがけ公企塾一号生の今後の活躍を願って団結カンパニーで閉講した。

さきがけ公企塾

胆力・知力・団結心で 公営企業職場の活性化を

